2026 年 11 月

一般社団法人 日本建設業連合会

日建連表彰 2027

第 8 回 土木賞　募集要項

本会は、次のとおり第 8 回土木賞の候補プロジェクト・構造物を募集します。

◎選考委員会委員（敬称略、順不同）

木　村　　亮	京都大学名誉教授
岩　波　　基	岩波地下構造技術士事務所（元早稲田大学教授）
田　島　芳　満	東京大学教授
和　田　　卓	国土交通省
野　中　　賢	㈱日経ＢＰ
髙　松　　諭	建設コンサルタンツ協会
西　澤　　格	日本建設機械施工協会
市　原　栄　二	日建連表彰委員会土木部会
伊　藤　寿　章	日建連表彰委員会土木部会
滝　川　龍　誠	日建連表彰委員会土木部会

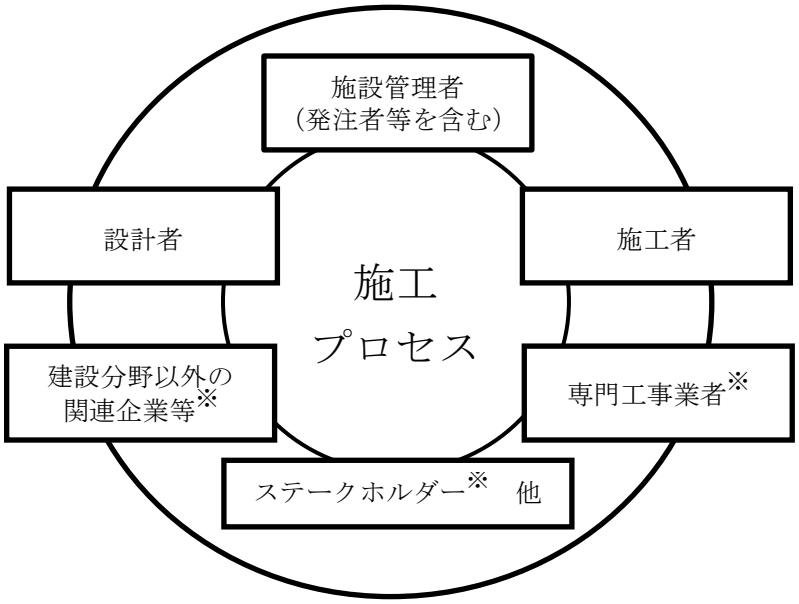
日建連表彰　第８回土木賞　募集要項

１．目　　的	日建連表彰　第８回土木賞は、毎年、優良なプロジェクト・構造物を表彰することにより、土木に係わる事業企画の質、及び計画・設計、施工、環境、維持管理、その他土木技術の進歩向上を図り、もって良好な土木資産を創出し、わが国の国民生活と産業活動の基盤の充実に寄与することを目的とする。
２．募集期間	2027 年 1 月 5 日（火）10 時から同 1 月 29 日（金）17 時までに土木賞事務局（土木グループ）に８.(1)に記載する方法で提出のこと。
３．選考の範囲	土木分野のプロジェクト・構造物で、2026 年 12 月 31 日までに概ね竣工したもの。
４．応募の手続き	(1) 応募申込み ○申込みは、施設管理者（発注者等を含む。以下同じ。）、設計者、施工者とこれを支える関係者※1 のいずれかが行う。この場合、必ず応募者は、あらかじめ施工にあたり協働した他の関係者の了解を得ることとする。 ※1 施設管理者、設計者、施工者を支える関係者とは、専門工事業者のほか、建設分野以外の関連企業等（例えば、ICT、ロボット等の技術開発に関係した建設分野以外の研究者や企業）、ステークホルダー（例えば、ダム再開発事業の利水者）などが想定される（別表-1 参照）。 (2) 提出する書類等 （第一次選考） イ 応募申込書、応募関係者（別記様式） ロ 応募プロジェクト・構造物説明書（別記様式） ・企画、設計、施工その他プロジェクト・構造物の特徴について、要点を簡潔に表現し、評価すべき内容を明らかにすることが望ましい。 ・施工にあたり協働した関係者の貢献度についても記載すること。 ハ 構造・設備・施工の技術的特徴を説明する資料 ニ 図面（位置、平面、縦断、横断。縮尺は適宜） ホ 写真（JPEG、PDF の 2 種） ※2　上記イ～ハの各書類、ニの図面、ホの写真の全てを電子データで提出。（「提出する書類の作成上の注意事項」参照。紙での提出は不要。） ※3　上記イ、ロの様式は、日建連ホームページ（日建連表彰土木賞）よりダウンロードのうえ作成。 https://www.nikkenren.com/doboku/prize/youkou.html （第二次選考） ○第一次選考で選ばれたプロジェクト・構造物について、当該応募者は別途連絡する期日までに第二次選考に使用する説明資料を提出すること。 ヘ 説明資料（パワーポイント） ・説明資料は、施工プロセスの特徴に重点を置くとともに、プロジェクト・構造物の内外観、工法、その他企画や技術等の特徴が良く表現されているもの。

	(3) その他 イ 上記以外に、追加質問への対応や、資料の追加を求めることがある。 ロ 日本建設業連合会（以下「本会」という。）は、(2)の資料の作成に要した費用は負担しない。
5．選考の方法及び決定	(1) 選考は、本会内に設置する土木賞選考委員会の合議に基づき、次により行う。 イ 第一次選考　提出された応募申込書、応募プロジェクト・構造物説明書及び資料に基づいて選考する。 ロ 第二次選考　第一次選考で選ばれたプロジェクト・構造物を対象に、応募関係者の立会いのもとに行う現地の調査及び応募関係者からの説明等に基づいて選考する。 選考委員会の説明聴取は東京で行い、応募関係者は、パワーポイントを用いて説明 15 分（選考委員会から事前送付する質問への回答を含む）及び質疑 5 分を行うものとする。 (2) 選考は、プロジェクト・構造物の事業企画、及び計画・設計、施工、環境、維持管理等に関する総合評価により行うものとする。この際、施工プロセスの視点（施工プロセスの改善、良質な社会資本の効率的創出、土木技術の発展・伝承など：別表-2 参照）を重視する。プロジェクト・構造物の評価は、土木賞の選考基準（別紙）に基づいて行う。 (3) 受賞プロジェクト・構造物は、選考委員会の選考結果に基づき、日建連表彰委員会で決定する。
6．表 彰 等	(1) 優良なプロジェクト・構造物 10 件内外（特別賞を授与する場合はこれを含む）を表彰する。なお、固有の課題に対する取組み（施工プロセスを支えた活動、技術開発など）で優れているプロジェクト・構造物を特別賞として表彰することがある。 (2) 受賞プロジェクト・構造物が決定したときは、当該構造物の施設管理者、設計者及び施工者とこれを支えた関係者（以下「受賞者」という。）に通知するとともに、新聞、雑誌等に公表する。 (3) 表彰は、受賞者に対してそれぞれ表彰状を贈るほか、次のとおり表彰パネル及び賞牌を贈呈する。 イ 施設管理者には、受賞プロジェクト・構造物に取り付けることができるブロンズ製の表彰パネル ロ 設計者及び施工者（共同企業体の場合は代表者）並びにこれを支える関係者には、賞牌 (4) 表彰式は、2027 年 11 月に東京で行う。
7．受賞プロジェクト・構造物の紹介、及び著作権	(1) 本会は、受賞プロジェクト・構造物をわが国の土木分野の代表的プロジェクト・構造物として、第８回土木賞受賞プロジェクト・構造物集の公表などにより広く内外に紹介する。 (2) 受賞者は、本会が受賞プロジェクト・構造物の関係資料を出版、展示等に使用する場合には、無償でこれを貸与するものとする。 (3) 受賞プロジェクト・構造物の応募資料として提出された写真等について、当会は編集出版権を持つものとする。 (4) 応募者は、受賞プロジェクト・構造物集等及び本会ホームページに写真等が掲載されることを前提に、写真等について他者の著作権及び第三者の肖像権が侵害されることの無いよう予め適切に措置するものとする。 ※ 応募書類や第二次選考の説明資料等の記載内容は、受賞プロジェクト・構造物集等に掲載されることがあります。

８．提出方法 （問合せ先）	(1) 提出方法：応募書類の５つのファイルを以下のＵＲＬよりアップロード。 https://www.nikkenren.com/doboku/prize/entry/ ※ 応募書類の受領後、本会より受領確認を返信する。応募が提出期限日の午後となる場合は、土木賞事務局に受信を確認すること。 (2) 問合せ先 一般社団法人 日本建設業連合会　土木賞事務局（土木グループ） 〒104-0032 東京都中央区八丁堀２－８－５ 東京建設会館内 電話 080-6645-8475(五十嵐)、080-6645-8452(北浦) E-mail：doboku_prize@nikkenren.or.jp

別表-1　施工プロセスに貢献した多様な関係者



※ 施設管理者（発注者等を含む）、設計者、施工者を支える関係者

別表-2　「施工プロセスの視点」の例

施工プロセスの改善

- コストの低減
  - ✓ 建設費の低減
  - ✓ ライフサイクルコストの低減
  - ✓ 補償費等の抑制
- 環境の維持
  - ✓ 建設工事に伴う公害の防止（騒音・振動・水質汚濁・大気汚染等）
  - ✓ 施工中の景観の保全
  - ✓ 作業環境の改善
  - ✓ 自然環境の保全
  - ✓ CO2 排出量削減
- 交通の確保
  - ✓ 規制時間の短縮
  - ✓ 交通ネットワークの確保
- 特別な安全対策
  - ✓ 第三者の安全確保
  - ✓ 施工者の安全確保
- 省資源又はリサイクル
  - ✓ エネルギー消費量の削減
  - ✓ 建設副産物の発生量削減

良質な社会資本の効率的創出

- 構造物の性能・機能の向上
  - ✓ 耐久性の向上
  - ✓ 強度の向上
  - ✓ 美観の向上
  - ✓ 供用性の向上
- 安全・安心の向上
- 生産性向上
  - ✓ 工程短縮
  - ✓ 限定された期間内での確実な施工
  - ✓ 情報共有システムの活用
  - ✓ 情報化施工
  - ✓ プレキャスト化
  - ✓ 機械化・ロボット化
  - ✓ 省人化
  - ✓ i-Construction

土木技術の発展・伝承

- 技術伝承の取組、育成
- 建設業を取り巻く他産業との関係強化
- 新しい建設システム
- 特別な事業マネジメント

その他

- 建設業のイメージアップ活動
- 社会貢献活動
- 復興支援
- 特別な地元対策　etc

※ 別表-2 に該当する項目がない場合は、「イ．応募申込書（別記様式１：Excel）」の【施工プロセスの視点を踏まえた特徴】のその他の欄に具体的な項目を記入してください。

別紙

日建連表彰　第８回土木賞

選考基準

（選考の基本方針）

第１　日建連表彰 土木賞の選考は、プロジェクト・構造物の事業企画、計画・設計、施工、環境及び維持管理等に関する総合評価に基づいて行うものとする。この際、施工プロセスの視点（施工プロセスの改善、良質な社会資本の効率的創出、土木技術の発展・伝承など）を重視する。

（施工プロセスに貢献した多様な関係者）

第２　施工プロセスに関係する施設管理者（発注者等を含む）、設計者、施工者とこれを支える関係者の相互の協力関係が良好であり、適正な価格により正常な施工が行われ、その結果、優良な構造物が構築されているものを選考に当たって重視するものとする。

（安全）

第３　選考に当たっては、安全に充分配慮して、企画、設計及び施工が行われていたかについて留意するものとする。

（評価項目）

第４　以上のほか、選考に当たっては、次の事項に留意し、評価するものとする。

○事業企画……構造物に係わる事業プログラムの健全性、社会的ニーズへの適合性

○計画・設計…構造形式・景観等の斬新性、適切性、技術の先進性

○施工……施工技術・管理手法の斬新性・効率性、難条件の克服度

○環境……地域環境との調和、地球環境への配慮、構造物周辺環境の整備

○維持管理……設計・施工時における竣工後の検査、維持管理を考慮した工夫、及び施設の運用性、ライフサイクルに係わる波及性

（特別賞）

第５　特別賞は、施工プロセスを支えた活動、技術開発などに対する固有の課題への取組みで優れているプロジェクト・構造物を選考する。

提出する書類の作成上の注意事項

応募者は下記の要領に従い、全ての応募書類を電子データにて作成すること。

（第一次選考）

イ．応募申込書、応募関係者（別記様式１：Excel）

日建連表彰 土木賞選考基準で定める施工プロセスに貢献した多様な関係者は、各工事に関係した者の中で貢献度の高い者とする。施設管理者（発注者等を含む）、設計者及び施工者等は、全ての者がそろわない場合でも応募できる。また、発注者等には、契約書に記載されていない工事担当事務所も含む。

＊共同で業務に従事した場合には、応募に当たって、関係者名の表示等について関係者間での同意を徹底すること。
＊応募者について、選考の過程で適格性を確認し、変更を求めることがある。

ロ．応募プロジェクト・構造物説明書（別記様式２：Word）

別記様式により、所定の事項は必ず記述すること。

ハ．プロジェクト・構造物の技術的特徴を説明する資料：Ａ４判タテ ３ﾍﾟｰｼﾞ以内（PDF）

書式は自由。写真やグラフ等を用い、構造・設備・施工それぞれのＰＲポイントを簡潔にまとめ、一つのファイルにまとめること。

ニ．図面：Ａ３判ヨコ ５ページ以内（PDF）

鮮明でわかりやすいものとし、図面に写真は入れないこと。一つのファイルに全ての図面データをまとめること。また、セキュリティ等がかけられていない印刷可能なファイルとすること。

ホ．写真：１５枚以内（JPEG、PDF の２種）

下記 JPEG(写真データ 15 枚以内)と PDF を一つの ZIP ファイルにまとめること。

【JPEG】写真の向きは横。データ形式は１枚１MB（出来れば２MB）以上。各写真のファイル名に簡単な説明を付し、そのうち代表する写真を３点選択の上優先順位を付し「代表写真①～③(優先順)」と名前を付けること（受賞決定時にその内１点を HP 等に掲載）。

【PDF】写真の向きは横、大きさは任意。A4 判タテの PDF に１ページに２枚ずつ貼り付け、それぞれ簡単な説明を付すこと（写真は JPEG と同じものを 15 枚以内）。

※ 応募書類は、上記イ～ホがそれぞれ１ファイル、計５ファイルとなる。

※ 各ファイル名は「上記応募書類のイ～ホ＋ 簡易な会社名＋簡易な工事名」とすること。(例)「一般社団法人日本建設業連合会」が「日本橋地下トンネル建設工事」の「イ．応募申込書、応募関係者」のファイルを作成する場合：「イ 日建連 日本橋トンネル」

※ 提出は、応募書類の５つのファイルを以下のＵＲＬよりアップロード。
https://www.nikkenren.com/doboku/prize/entry/

（第二次選考）

第一次選考で選ばれたプロジェクト・構造物を対象に、応募関係者によるパワーポイントの資料を用いた説明の機会を設ける。
また、別途、応募関係者の立会のもとに現地調査を実施する。

ヘ．説明資料：パワーポイント（PPT）

第二次選考におけるプレゼンテーションは、パワーポイントを使用し、プロジェクト・構造物に関する説明 15 分及び質疑 5 分とする。パワーポイントには、動画も可とするが、15 分の説明に必要な枚数のみとし、説明しないパワーポイント及び追加資料の提出は認めない。なお、選考委員会から第二次選考に先立ち質問書が送付された場合は、15 分のプレゼンテーションの中で回答するものとする。